

平成 2 9 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	平成29年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	法人事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	理事会・監事会・評議員会開催状況・・・・・・・・	4
4	会議・委員会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	職員状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	職員研修等状況・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7	苦情受付と対応・・・・・・・・・・・・・・・・	9
8	特別養護老人ホームこぶし荘・・・・・・・・	10
	(1) 介護係	
	(2) 医務係	
	(3) 給食係	
	(4) 総務係、事務人事係	
	(5) 業務係	
9	こぶし荘ショートステイ・・・・・・・・	23
10	こぶし荘デイサービスセンター・・・・・・・・	25
11	こぶし荘在宅介護支援センター・・・・・・・・	29
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家・・・・・・・・	31

1. 平成29年度事業総括

社会福祉法人制度改革元年にあたる本年は、「経営組織のガバナンス強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組の責務」がより求められた年であった。

こうした改革を推進するため、新たに諮問機関として設置した評議員会及び新役員体制による理事会・監事会について、定款等において権限と責務を明確化し、法人組織体制のガバナンス強化に努めた。これにより本年度の理事会開催回数は定例・臨時を合わせ計6回の開催に至り、活発な意見交換のもと執行機関としての役割強化が図られた。さらには、事業計画の達成を図るため、法人役員と各部署を統括する所属長との関わりを深め体制強化に取り組んだ。

昨今、重大な課題となった福祉人材の確保と職員の資質向上については、正規職員登用制度による正規職員への転換、生活相談員の増員とショートステイ専任職員の配置、職員の健康管理を充実するため安全衛生委員会委員の増員、人材確保プロジェクトチームの立ち上げ、プリセプター制度による新人教育を実施した。さらには、実習生の積極的受け入れ、処遇改善加算を活用した処遇改善、内外研修、ボランティア等の地域貢献・交流活動の推進に引き続き取り組んだ。

また本年は、大規模な設備更新と施設整備計画推進の年でもあった。

経年劣化した空調設備（冷房エアコンと暖房ボイラー）については、申請取得が難しいとされる環境省補助金の交付決定を受け、9月から約4ヶ月の工事期間を経て、高性能な冷暖房エアコンに更新した。完成により、全館寒暖差の少ない快適な生活空間を確保するとともに、環境に配慮した省エネな設備に生まれ変わった。

「地域における公益的取組」として、第7期山形県老人保健福祉計画及び第7期南陽市介護保険事業計画に掲げる「特養待機者の解消と介護離職ゼロの実現」に基づき、特養増床整備を推進した。具体的には、南陽市との協議調整、県ヒアリングの受講、地元説明会の開催など整備実現に向けた取り組みを加速させ、今後は山形県社会福祉施設整備補助金の申請と交付決定により、平成30年度工事着工、平成31年4月オープンのスケジュールを計画している。

利用者サービスの向上については、これまでのケア体制の見直しや、良質なサービスの提

供を目指すため日課見直し検討委員会において検討を重ね「より良い働き方とより良いケアは両輪」と捉え、次世代の職員により良い形で引き継いでいくことを目指した。具体的な取り組みとして、これまでの16時間夜勤体制を8時間夜勤シフトに8月から試行実施するとともに、準ユニットケアを検討し、ハード面や人的課題については「こぶし荘方式の棟毎ケア」を考案し、平成30年4月から試行検討を重ね新棟オープンに向ける。

感染症に関しては、10月にこぶし荘入居者の不明熱が発生、翌年1月下旬にはグループホームでのインフルエンザ発生、その後こぶし荘入居者が発症し、これにより面会制限やショートステイの受け入れ中止、さらには10月に予定していた「こぶし荘秋祭り」も中止せざるを得ない状況となり、楽しみにしていた利用者やご家族、準備協力いただいた地域、ボランティアの方々に多大なご迷惑をおかけする結果となった。この度の感染症対策については、感染症マニュアルに基づき最小限に抑えることができたが、今後ともマニュアルの徹底と検証により発生予防と感染拡大防止に努めたい。

介護サービス利用実績は、感染症発生の影響もあり、母体となる当特養施設において、入院による空きベッド984日（前年度比468日増）、死亡及び入院による退所者33人（前年度比6人増）、次期入所までの空きベッド579日（前年度比361日増）、ショートステイは感染症による受入れ中止の影響もあり、前年比193日の減、平均利用率71.9%（前年度78.5%）、特養平均利用率は94.6%（前年度97.5%）であった。また、職員の病休等によりデイサービス営業日の縮小、支援センターにおいては管理者の年度途中退職など、前年度と比べさらに厳しい結果となった。

平成30年度は、介護保険法・介護報酬・診療報酬・障害福祉サービス費の改定や生活困窮者自立支援法の改正、包括的な支援体制の整備等に向けた改正社会福祉法の施行など、社会保障、社会福祉にとって変革の年となる。また、国は、「2020年代初頭の介護離職ゼロ」に向けてサービス基盤の追加整備を進めているが、特養待機者が依然減少しない状況（南陽市全体で約160人）において、人材不足とサービス量の低下は今後継続するものと思われる。

当法人は、このような厳しい状況の中、社会福祉法の理念に基づく社会福祉法人として更なる福祉の充実に努めるとともに、施設整備計画を実現し、待機者解消と経営安定に向けた取り組みにより、より良いケアの実践に職員一丸となり取り組んでいく。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会
- (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地
- (3) 設立年月日 昭和63年5月17日
- (4) 法人事業

第一種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	80名	平成元年4月1日 (平成5年4月1日)

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	8名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

(5) 組織図

社会福祉法人 南陽恵和会

理事長
副理事長
理事会
評議員会
監事会
評議員選任・解任委員会
顧問

- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
「こぶし荘」
- 短期入所生活介護施設
「こぶし荘」
- 通所介護施設
「こぶし荘デイサービスセンター」
- 居宅介護支援事業所
「こぶし荘在宅介護支援センター」
- 認知症対応型共同生活介護施設
「こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家」

3. 理事会・監事会・評議員会開催状況

(1) 役員 理事 8名 (定数 8名)
 監事 2名 (定数 2名)
 顧問 1名 (定数 1名)

(2) 評議員 9名 (定数 9名)
 評議員選任委員 3名 (定数 3名)

(3) 理事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
平成 29 年 6 月 13 日	平成 29 年度 第 1 回定例理事会 ・ 事業報告案、決算報告書案並びに監査報告 他	7/8	2/2	0
平成 29 年 6 月 27 日	平成 29 年度臨時理事会 ・ 理事長、副理事長、業務執行理事の互選	8/8	2/2	1
平成 29 年 9 月 29 日	平成 29 年度 第 2 回定例理事会 ・ 諸規則の一部改定について 他	8/8	2/2	0
平成 29 年 10 月 31 日	平成 29 年度臨時理事会 ・ 特養増床計画の一部変更について	8/8	2/2	0
平成 29 年 12 月 12 日	平成 29 年度 第 3 回定例理事会 ・ 就業規則の一部変更について 他	8/8	2/2	0
平成 30 年 3 月 27 日	平成 29 年度 第 4 回定例理事会 ・ 平成 29 年度事業計画案、当初予算案 他	8/8	2/2	1

(4) 監事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数
		監事
平成 29 年 5 月 31 日	平成 29 年度 第 1 回定例監事会（業務執行監査） ・ 監査の所見は「決算報告書」に掲載	2/2

(5) 評議員会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数	
		評議員	役員
平成 29 年 6 月 27 日	平成 29 年度定時評議員会 ・ 決算報告書案並びに監査報告、役員選任	9/9	11/11

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	8回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	6回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	6回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	6回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	6回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	6回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	2回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	12回	ショート利用者のリスク軽減
看護介護協働委員会	1回	喀痰吸引制度の普及啓蒙

(3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
日課検討委員会	8回	棟毎ケアの検討・試行
秋祭り実行委員会	5回	こぶし荘秋祭りの企画実施
施設整備検討委員会	11回	特養増床整備に係る細部の検討
人材確保プロジェクトチーム	7回	人材確保への提案とパンフレット等の作成

(4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
平成29年4月26日	52名	平成29年度事業計画について 他

5. 職員状況

(1) 職種別

平成 30 年 3 月 31 日現在

職 名	事 業 所 別					H29 年度 採用者数	H29 年度 退職者数
	こぶし荘	デイ	グループ	支援	計		
施 設 長	1				1	0	0
事 務 職	2				2	0	0
管 理 者	【1】	【1】	【1】	【1】	0	0	【1】
生 活 相 談 員	2	1・【2】	－	－	3	0	0
介護支援専門員	【2】		【1】	2 (1)	2	1 (1)	1
介 護 職 員	37 (18)	6 (3)	7 (3)	－	50	4 (4)	2 (2)
看 護 職 員	6 (2)			－	6	1 (1)	0
機能訓練指導員	1	－	－	－	1	0	0
管 理 栄 養 士	2		－	－	2	0	0
調 理 員	7 (4)		－	－	7	3 (3)	2 (2)
業 務 員	2 (1)				2	0	0
洗 濯 員	5 (5)	－	－	－	5	1 (1)	1 (1)
清 掃 員	3 (3)	－	－	－	3	0	0
夜 警 員	5 (5)				5	1 (1)	0
医 師 (嘱託)	2 (2)	－	－	－	2	0	0
実人員合計	75 (33)	7 (3)	7 (3)	2 (1)	91 (40)	－	－

※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、【 】内は同一事業所内での兼務

※ 採用・退職者数に人事異動を含む

※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント

※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

(2) 年齢別

(平均／48.5 歳)

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～
男 性	0	5	0	4	11	6
女 性	0	2	13	12	24	12
計	0	7	13	16	35	18

(3) 在職別

(平均／12.1 年)

区分	0～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21～25 年	26～30 年
男 性	10	4	1	3	3	5
女 性	22	7	10	2	11	11
計	32	11	11	5	14	16

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研 修 内 容	参加者数
H29. 4. 21	身体拘束委員会による復命発表 [身体拘束委員会]	18 名
H29. 5. 31	記録のとり方（講師：介護労働安定センター） [事故発生防止委員会]	30 名
H29. 6. 8	衛生講習会（講師：東京サラヤ） [感染症予防対策委員会]	24 名
H29. 7. 21	コーチング研修（講師：塩野貴美先生） [研修委員会]	31 名
H29. 8. 3	摂食嚥下障害についての基礎知識（講師：大塚製薬工場） [給食委員会]	35 名
H29. 9. 25	対人関係とストレスケアを学ぶ（講師：介護労働安定センター） [研修・地域連携委員会]	21 名
H29. 11. 9	腰痛予防対策研修（講師：勝見 OT） [安全衛生委員会]	23 名
H29. 12. 5	トロミ剤の使い方を学ぶ（講師：明治） [給食委員会]	25 名
H30. 3. 22	研修復命発表・入居者の事例発表 [研修・地域連携委員会]	25 名

[] は主催委員会

(2) 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
平成 29 年 4 月	置賜地区施設長協議会	施設長
平成 29 年 5 月	山形県老人福祉施設協議会総会・研修会	施設長
	特養部会 栄養士研修会	栄養士
	特養部会 生活相談員総会・研修会	生活相談員
	他施設研修 3 回	介護職
	助成金説明会	事務職
	東北文教大介護実習連絡協議会	介護職
平成 29 年 6 月	喀痰吸引等研修（基本・講義・演習）	介護職
	特養部会 前期看護職員研修会	看護職
	高齢者福祉種別新任職員研修	介護職
平成 29 年 7 月	特養部会 機能訓練指導員研究会	機能訓練指導員
	特養部会 介護職員研修会	介護職
	安全運転管理者法定講習	業務員
	置賜地区 生活相談員研修	生活相談員
	集団指導	多職種 5 名
	自立支援介護実践者講習会 7 月～1 月	介護職
	マネジメント研修 7 月～1 1 月	GH介護職

	O J Tスキルアップ研修	介護職
	ケアリーダー研修	介護職
	他施設研修 2回	他職種
平成 29 年 8 月	苦情対応実践研修	施設長
	栄養士・調理担当者研修	調理師
平成 29 年 9 月	福祉・介護人材確保定着セミナー	施設長・事務職
	中堅職員キャリアアップ研修	介護職
	介護労働者雇用管理責任者講習	事務職
	特養部会施設長研修会	施設長
	排泄セミナー	介護職
	普通救急救命講習	介護職
平成 29 年 10 月	特養部会 介護職員研修会	介護職
	特養部会 後期看護職員研修会	看護師
	特養部会 主任介護職員研修会	介護職
	特養部会 栄養士研修会	栄養士
	在宅移行支援研修	看護師
	高齢者介護職員研修	介護職
平成 29 年 11 月	社会福祉専門講座	介護職
	防災ネットワーク連絡協議会	業務員
	退職共済事務研修	事務職
	特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員
	認知症介護基礎研修	介護職
	資質向上研修	看護師
	特養部会 生活相談員研修会	生活相談員
	新人職員指導者育成研修	介護職
	特養部会 介護支援専門員研修会	介護職
	置賜地区 主任介護職員研修会	介護職
	高齢者虐待防止研修	介護職
平成 29 年 12 月	認知症介護実践者研修	介護職
	褥瘡対策研修	介護職 6名
	介護職員学習交流会	介護職
平成 30 年 1 月	介護認定審査会委員現任研修	介護職
平成 30 年 2 月	高齢障がい者支援研修	介護職・機能訓練指導員
	介護報酬改定セミナー	施設長
	介護支援専門員研修	介護職
平成 30 年 3 月	特養部会 栄養士研修会	栄養士
	集団指導	他職種

(3) 社会・地域貢献活動

期日	項 目	参加数 派遣数	活動内容
H29. 4. 30	清掃活動ボランティア	22 名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
H29. 5. 14	中川地区花いっぱい運動	全職員	花苗植栽、除草等の花壇管理
H29. 8. 12	いわぶの里夏祭り	7 名	模擬店への協力
H29. 6. 7	介護予防料理教室	4 名	こぶし荘主催（企画：給食係） 南陽市小岩沢公民館にて
H29. 11. 8	中川小放課後子供教室	6 名	講師派遣（給食係職員）

(4) 研修講師派遣

期日	研修名	団体等	派遣職員
H29. 8. 4	認知症サポーター養成講座	東部地区民生委員	佐々木利典
H30. 2. 19	〃	米沢ヤクルト南陽営業所	〃
H30. 2. 27	〃	ヨークベニマル南陽店	〃
H29. 11. 29	市民公開講座	南陽市主催（市民会館）	〃
	認知症介護実践者研修	山形県、山形県老施協	〃
	認知症介護リーダー研修	山形県	〃
	認知症介護管理者研修	山形県	〃
	介護アシスタント研修	山形県老施協	〃
	講義	済生館看護学院	〃
H29. 6. 15	喀たん吸引研修	山形県老施	近野みどり
H29. 10. 27	川樋地区サロン	川樋地区	勝見清美

7. 苦情受付と対応

施 設 名	今年度の苦情受付はありません
受 付 日	
申 出 者	
内 容	
対応と経過	

8. 特別養護老人ホームこぶし荘

～ 介 護 係 ～

(1) サービス全般について

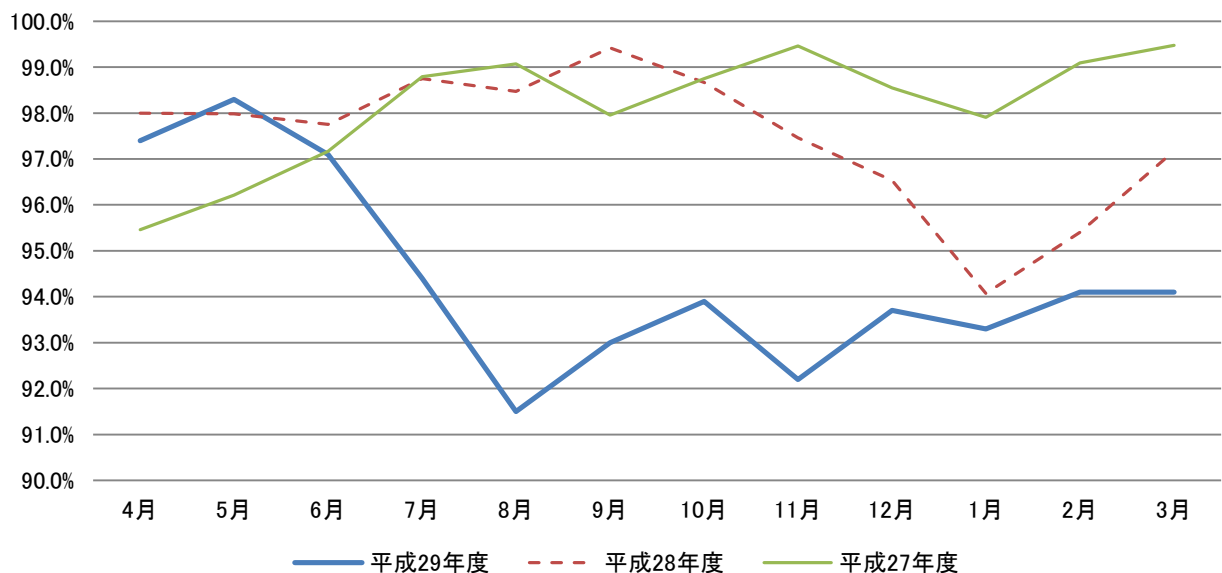
今年度は、利用者がゆっくり楽しんで食事をとれる環境づくりとして、日課検討委員会で検討を重ね、夕食提供時間を早め、食事時間帯を増やす取り組みを行った。これにより食事介助における時間の余裕が生まれ、より丁寧な介助が出来るようになった。これからも利用者に安全・安心なサービスを提供する為、一人ひとりの気持ちに寄り添った介護を目指していく。

(2) 利用状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

① 要介護度・月別

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護 1	30	31	30	31	31	30	31	60	62	93	56	93	578	3 人
要介護 2	120	124	123	124	124	150	155	135	155	139	135	119	1,603	4 人
要介護 3	655	681	649	570	466	463	606	543	564	585	496	577	6,856	19 人
要介護 4	520	531	544	558	589	589	530	561	620	575	596	646	6,859	23 人
要介護 5	1,102	1,069	984	1,058	1,060	999	1,007	914	922	922	824	899	11,670	29 人
合 計	2,337	2,437	2,330	2,341	2,270	2,231	2,329	2,213	2,354	2,345	2,107	2,334	27,628	78 人
利用率	97.4	98.3	97.1	94.4	91.5	93.0	93.9	92.2	94.9	94.6	94.1	94.1	94.6	
平均介護度 4.0（昨年度 4.0） ※ 平成 28 年度全国平均介護度（全老協統計）4.0														

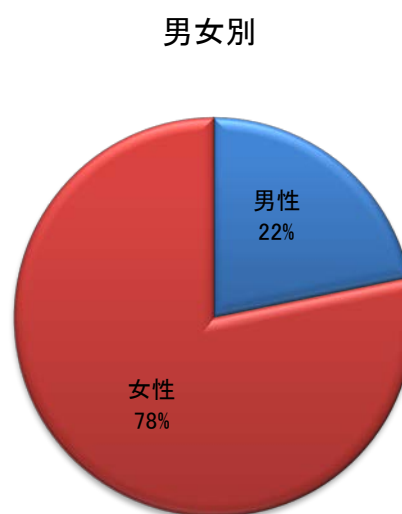
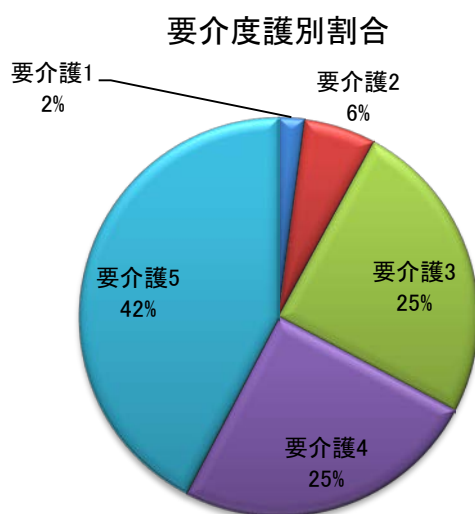
稼働率推移（過去3年分）



② 男女別

実人数

男性	女性	計
17人	61人	78人



平成27年度の介護保険改正により入所対象者が原則、要介護3以上となったことから、介護度が全国平均と同じく4.0と高くなった。また、比較的介助に注意を必要とする要介護3・4の割合が5割以上となっている。

③ 市町村別

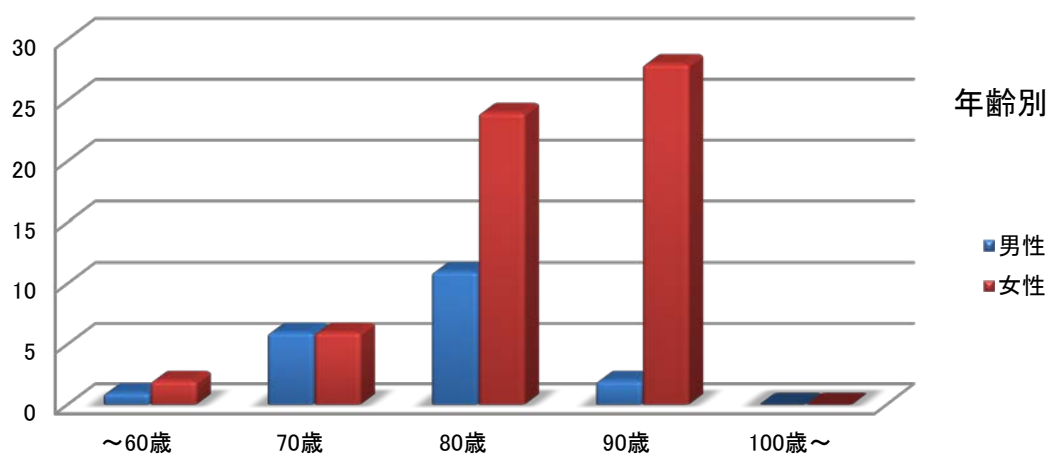
実人数

南陽市	長井市	高畠町	川西町	その他	合計
75	1	1	1	0	78

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	2	6	9	0	0	79.5歳
女性	1	7	26	27	0	87.5歳
計	3	13	35	27	0	83.5歳



現在の入所者の年齢構成は、80 歳以上が 80%を占めるが、ここ最近では 60 歳代、70 歳代の方の入所や入所申込が増えてきた傾向にある。

(3) 入退所の状況

実人数

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽、高畠、米沢
男 性	7	4	4	15	12
女 性	16	2		18	19
計	23	6	4	33	31

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院亡	計
人 数	23	6	4	33
平均年齢	87.7	87.8	83.5	86.3

(4) 日常生活の状況

実人数

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	自力浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	3	6	36	33	31	21	26	7	71	3	75

(5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	13	56	69
(全体に占める割合)	16.7%	71.8%	88.5%

(6) リハビリテーション

① リハビリ実施状況

実人数

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週 1 回	1 0	6	7	7	7	3 7
	週 2 回	4		3	1	1	9
集団リハビリ	毎週火曜		3 3				3 3

② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等） ●起き上がり訓練 ●座位保持訓練 ●立ち上がり訓練 ●筋力訓練 ●移乗訓練 ●ROM-EX（関節稼働域訓練） ●ポジショニング ●作業活動
集団リハビリ	●歌体操 ●脳トレーニング ●回想法 など

～ 医 務 係 ～

（１）サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

（２）医 療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
大 塚 聡 嘱託医	内 科	毎週火曜日
佐 藤 忠 宏 嘱託医	精神科	毎月第3木曜日
佐 藤 有 弘 歯科医	歯 科	随時回診

大塚嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

歯科診療については、佐藤有弘歯科医の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

② 感染症等対策

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	50 名	平成 29 年 7 月 7 日（金曜日）
インフルエンザワクチン	70 名	平成 29 年 11 月 21 日 28 日
肺炎球菌ワクチン	10 名	平成 30 年 1 月 23 日

- ・弱酸性次亜塩素酸水による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施

- ・ノロウイルス等対策へうがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週 1 回及び随時）
- ・風邪など感染症予防のため、出退勤及び面会時うがい、マスク着用、手指の消毒を実施

（３）入院・退院

入院者	退院者	入院中 死亡者	継 続 入院者	長期入院によ る契約終了	その他
23 名	13 名	6 名	0 名	4 名	0 名

※入院者には、同一利用者の複数回入院が含まれます

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
0 名	8 名	6 名	8 名	1 名

（４）健康調査

入居者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年 1 回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時大塚嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に大塚医院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者 50 人

（５）職員の健康管理

項 目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	5 月	42 名	夜勤職員及びパート職員
秋季健康診断	10 月～12 月	73 名	全職員（健康保険未加入者除く）
インフルエンザワクチン	11 月	79 名	全職員
ストレスチェック	6 月～ 8 月	84 名	全職員

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき大塚産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。また、生活習慣病改善に向けて専門保健師等による個別相談の受診を奨励しながら、職員の健康管理を行った。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

平成 28 年度のストレスチェック実施義務化に伴い、全職員を対象として、自身のストレスの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的に、大塚産業医の指導のもと実施した。

～ 給 食 係 ～

(1) サービス全般について

生活の「楽しみ」と、「生きがい」を充実させるため、選択メニュー、行事食、個人の誕生日祝、季節の食事などを実施した。またカロリーやビタミン、たんぱく質等の栄養に留意し、心身の状態にあった献立と食事作りに努めた。食事形態の刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食も取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。看取り介護者へは最期まで口から食べる支援を行った。

また、給食委員会での意見や管理栄養士によるフロアラウンド等により入居者の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供に努めた。

① 適時適温食事への配慮

朝 食	昼 食	夕 食
8 : 00～	12 : 00～	17 : 50～

食事の提供に於いては、「温かいものは温かく」「冷たいものは冷たく」「食べやすさ」に努めた。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協同による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。スクリーニング、アセスメント、カンファレンスを行ったうえで栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行った。計画の変更があった場合は、その都度同意を得た。

項 目	単位	栄養摂取量基準値 (平成 29 年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1,594	1,519	1,312
蛋 白 質	g	52.8	55.5	50.4
脂 質	g	42.8	38.0	37.7
カ ル シ ウ ム	mg	663	718	709
鉄	mg	6.3	10.4	9.7
レチノール活性当量	μg	689	447	447
ビ タ ミ ン B1	mg	0.85	0.96	0.89
ビ タ ミ ン B2	mg	0.96	0.98	0.95
ビ タ ミ ン C	mg	100	77	78
塩 分	g	7.3	9.1	9.2

※ 日本人の食事摂取基準（2015 年版）の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。（上記表はその平均）

③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
88,449 食	745 円

※ 給食材料の改善として、新鮮で、より良い素材の吟味、スケールメリットを生かした見積合わせの実施で価格の安定化を図る。

(2) 行事と行事食

- ① 毎月の誕生会～誕生者全員と、家族の方も参加、食事、慰問などで歓談された。楽しく和やかな食事風景が見られ大いに歓迎された。また、ボランティア友の会を中心に慰問もあり歌や踊りを楽しんだ。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い提供して祝福した。
- ②七夕、芋煮会、正月、ひな祭りなどの行事に季節感あふれる行事食を提供
- ③ 重度化により参加者は年々減少傾向にあるが、春の花見等外出も実施した。
※行事と行事食、選択メニューの内容は、p 18～19（資料1）のとおり
- ④ デイサービスにおいては、食のニーズに合わせ麺提供の日、おやつレク実施を今年度取り組んだ。

(3) 衛生管理について

衛生的な食事の提供と食中毒、O-157、ノロウイルスなどの事故を未然に予防するため、重点的に次のことを心掛けた。

- ① 手指の洗浄と消毒、うがいの励行、自動手洗い器の活用
- ② 検便検査及びノロウイルス検査の実施と感染症対策、管理の徹底
- ③ 職員の体調管理の把握、身体衛生の徹底
- ④ 食品の取り扱い、器具類の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑤ 調理室、食品庫の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑥ 食事（調理済み食品）の迅速な配膳、提供
- ⑦ 厨房前室の食材洗浄用シンクを活用、調理用と区分して衛生確保を図った

(4) 残食調査状況（残飯及び残菜合計）

平 均	朝	昼	夕	給食実施数
春 4～ 6 月	0.9 kg	1.1 kg	1.4 kg	84 人
夏 7～ 9 月	1.3 kg	1.5 kg	1.9 kg	79 人
秋 10～12 月	1.2 kg	1.5 kg	1.8 kg	80 人
冬 1～ 3 月	0.8 kg	0.9 kg	1.1 kg	81 人
前年通年平均	1.1 kg	1.3 kg	1.6 kg	81 人

(5) 地域連携活動

小岩沢地区での介護予防料理教室の開催や中川小学校放課後子供教室への出前講座を行い、地域住民のみなさんへ食事・栄養面から健康増進について働きかけを行った。

～ 総務係・事務人事係 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会への報告・提案に努めた。

「特養増床工事」については、平成 30 年度着工・平成 31 年度オープンを見据え、土地取得手続き並びに実施設計の完成に向け理事会の意向を受けながら、施設整備検討委員会を中心に取り組んだ。

人材確保と育成・定着については、人材確保プロジェクトチームを立ち上げ、職員採用パンフレット及び施設紹介ビデオの作成に取り組んだ。また、プリセプター制度を確立させ新人教育・育成に努めた。さらに正規職員登用規定による準職員から正規職員への登用及び、外部・内部研修による人材育成に努めた。

(1) 監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
社会福祉法人一般指導監査	南陽市	H 30. 2. 23	対象：法人全般 指摘事項： 特になし
介護保険施設等実地指導 (対象：特養、ショート)	山形県	H 29. 11. 30	指摘事項： 重要事項説明書に非常災害 対策措置等を明記すること
業務管理体制確認検査	山形県	H 29. 11. 30	指摘事項： 特になし
介護保険施設等集団指導	山形県	H 29. 7. 7 H 30. 3. 20	平成 30 年度介護報酬改定に係 る指導 等
地域密着型集団指導	南陽市	H 30. 3. 27	平成 30 年度介護報酬改定に係 る指導 等
施設内診療所立入検査	置賜保健所	H 29. 10. 19	指摘事項： 医薬品チェックリ ストを作成し定期的に点検 すること 等
給食施設実地指導	置賜保健所	H 29. 8. 29	指摘事項： 特になし
監事監査（事業・会計監査）	監 事	H 29. 5. 31	指摘事項： 特になし
外部評価			今年度は実施なし

(2) 情報公開

項 目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	ワムネット (W e b)	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県 (W e b)	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワーク システム	山形県 (W e b)	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報

情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	W e b	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表、求人情報 等
法人広報誌（市内全戸配布）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

（３）諸規定整備

規 定 名	変更内容
社会福祉法人南陽恵和会 定款	社会福祉法改正に伴う変更（評議員会の設置等） （平成 29 年 1 月 10 日認可 指令第 242 号）
定款施行細則	社会福祉法改正に伴う変更（評議員会の設置等）
給与規程	処遇改善手当の変更、キャリアアップ規定の変更 等
就業規則	職員勤務形態の整理
臨時職員取扱規程	臨時職員の雇用期間の変更等
臨時職員給与支給基準	臨時職員期末勤勉手当運用基準及び臨時職員給与格付基準を一部変更し、統合新設
試用職員寒冷地手当運用基準	廃止
臨時職員寒冷地手当運用基準	廃止

（４）人材育成・確保

- ① 人材確保プロジェクトチームを立ち上げ、職員採用パンフレット及び施設紹介ビデオを作成し次年度の職員採用の準備を行った。
- ② プリセプター制度による新人教育を実施し、新人教育・育成に取り組んだ。
- ③ 正規職員登用制度により、介護職員 1 名の正規職員への転換を実施した。
- ④ 入職時のオリエンテーションを実施し、法人理念・基本方針等、さらに介護サービスについての基本研修を行い、法人全体への理解を図った。
- ⑤ 職員研修については P 7 参照

（５）表 彰

機 関 名	人 数
山形県老人福祉施設協議会	該当者 なし
全国老人福祉施設協議会（勤続 15 年）	〃
全国老人福祉施設協議会（勤続 20 年）	〃
山形県社会福祉法人経営者協議会	〃

（６）備品・設備整備

【介護・医療用品関係】

- ① 低床電動ベッド（離床センサー付）及び関連用品の追加整備
- ② エアーマット等褥瘡予防用品の追加整備
- ③ ブレンダー（厨房器具）更新整備 等

【管理関係】

- ① ワイヤレスマイクチューナーセットの更新整備
- ② パソコン増設整備 等

【設備関係】

- ① 空調設備改修工事
- ② 浄化槽放流配管布設取替工事
- ③ 高圧気中開閉器更新工事 等

～ 業 務 係 ～

業務員 2 名体制で 29 年を経過した建物、設備等の保守及び補修整備を行った。

また、今年度も経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、施設敷地内の環境整備作業や敷地外の作業も一部行った。

さらに、環境省より平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付を受け、空調設備の大規模修繕事業を各係と連携し実施した。

（１）主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちょうの家
2	外周管理	DSC 法面の調査、管理	
		芝生の除草、施肥、芝刈り等	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理	
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理	
		大雪のためホイールローダを借用	
		案内看板の維持管理	
3	建物管理	月次内部定期点検による管理 棟毎ケアに伴い談話室を撤去	
4	温水発生器（ボイラー）及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定の実施 床下配管の定期点検 空調設備改修工事により暖房設備を撤去	平成 17 年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査 敷地外污水管入替工事	水利組合立会いによるこぶし荘敷地外污水配管の確認

6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	
7	S P 用非常発電機保守管理		
8	地下油槽保守管理	年 1 回の漏洩検査を実施	消防法
9	暖房・湿度管理	エアコンの修理 加湿器の設置管理	弱酸性次亜塩素酸水の活用
10	電気設備定期点検	毎月 1 回定期点検、年 1 回総合点検 高圧気中開閉器の交換 空調設備改修工事によりキュービクルを増設、デマンド装置を設置	デマンド管理による空調設備の一部を制御
11	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	消耗部品の交換	1998 年度「国県補助事業」
12	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理 トップライトのひび割れ補修	
13	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換	
14	自動ドア保守管理	年 2 回の保守点検	
15	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取（異常なし）	
16	荘内清掃	清掃員による週 4 日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業	
17	公用車の管理	「日本財団」リフトバス 2 台、 「24 時間テレビ」リフトバス、 「日自振」リフトバス、 「競馬財団」スロープ付軽自動車 等公用車の積極的な活用及び管理	2003 及び 2006 年度「日本財団」福祉車両助成事業 平成 18 年度「24 時間 TV」寄贈 平成 19 年度日本自転車振興会補助事業 平成 25 年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
18	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の保守管理 車いす入浴装置の保守管理	2001 年度国県補助事業 平成 17 年度郵政公社年賀寄附金配分事業
19	介護用品等の管理	車いす修理、食事用テーブル、便座等の補修	

（２）防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成 18 年 12 月 30 日	川樋地区長（こぶし荘防災協力会会長）
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成 20 年 7 月 8 日	置賜地区老人福祉施設長 連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び使用に関する協定書	平成 28 年 2 月 15 日	南陽市長

(資料 1)

平成 29 年度行事と行事食

月	日	行 事 内 容	行 事 食
4 月	1 日	開 荘 記 念 日	ご飯、清汁、天ぷら、茎立のり和え、ゼリー
	17 日	お 花 見	ちらし寿司、豚汁風煮、お浸し、ヨーグルト
	27 日	誕 生 会	筍ご飯、清汁、かつおたたき、ふき煮、キャベツ漬け、プリン
5 月	1 日	変わりご飯の日	豆ご飯
	25 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛り合わせ、わらびの煮物、かぶ一夜漬け、プリン
6 月	1 日	変わりご飯の日	生姜ご飯
	29 日	誕 生 会	枝豆みょうがご飯、清汁、銀たら照り焼き、南瓜と茄子肉みそかけ、もずく、プリン
7 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	20 日	丑 の 日	あなご丼、結び昆布煮、なす漬、ぶどう
	27 日	誕 生 会	梅まぜごはん、清汁、天ぷら、いんげん煮、卵豆腐、メロン
8 月	1 日	変わりご飯の日	あさり生姜ごはん
	31 日	誕 生 会	ゆかりご飯、清汁、銀たら西京焼き、南瓜そぼろ煮、くるみ酢和え、フルーツポンチ
9 月	1 日	変わりご飯の日	わかめご飯
	2 日	敬 老 会	赤飯、清汁、鯉の甘煮、炊合せ、菊と胡瓜酢の物、ミルクプリン、紅白饅頭
	21 日	秋 彼 岸	おはぎ 4 種、牛乳、白菜五目煮、ゼリー
	28 日	誕 生 会	枝豆ご飯、清汁、ぶり照焼き、あけび味噌焼き、かぶ甘酢漬け、キャラメルプリン
10 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	26 日	誕 生 会	栗ご飯、みそ汁、刺身盛合せ、かぶそぼろ煮、菊と胡瓜酢の物、フルーチェ
11 月	1 日	変わりご飯の日	しめじご飯
	30 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛合せ、茶碗蒸し、三五八漬け、ラフランス
12 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	21 日	誕生会、クリスマス会	ご飯、刺身盛合せ、かぶと昆布煮、長芋醤油漬け、フルーツポンチ、苺ムースケーキ
	22 日	冬 至	冬至南瓜
	25 日	クリスマス献立	ご飯、南瓜スープ、エビフライ、ブロッコリーサラダ、白桃缶
	28 日	年 越 し そ ば (選択メニュー)	てんぷらそば
1 月	1～3 日	お せ ち 料 理	赤飯、ひょう干し煮、伊達巻、いか数の子、棒だら煮、冷汁、炒り鶏、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、だいだいムース、紅白なます、きんとん、ぶり照り焼き、鯉煮、とろろ
	7 日	七 草 粥	七草粥
	12 日	誕 生 会	かきご飯、みそ汁、刺身盛合せ、小松菜煮ひたし、りんごコンポート
2 月	1 日	節 分 の 日 (変わりご飯)	ちらし寿司、清汁、五目豆、いわしおかか煮、フルーツポンチ
	14 日	誕 生 会 バレンタインデー	ご飯、清汁、刺身盛合せ、根菜と鶏肉煮、かぶ漬け、いちご、チョコムースケーキ
3 月	3 日	ひ な 祭 り (変わりご飯)	ちらし寿司、清汁、筍とふき煮、菜の花辛子和え、白桃缶
	14 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛合せ、茶碗蒸し、浅葱酢味噌和え、フルーチェ
	20 日	春 の 彼 岸	ぼたもち 4 種、おろし和え、白桃缶、牛乳

平成 2 9 年度選択メニュー

月	日	メ ニ ュ ー	
4 月	13 日	千草焼・ごはん	煮込みそうめん
	20 日	ごはん・鶏のつくね煮	とろろそば
5 月	11 日	ロールキャベツ	味噌ラーメン
	18 日	ごはん・天ぷら	天ぷら・そば
6 月	15 日	ごはん・唐揚げ	山菜そば
	22 日	ごはん・チキンカツ	冷し中華
7 月	6 日	ごはん・豚野菜巻き	七夕そうめん
	13 日	ごはん・親子煮	冷しとろろうどん
8 月	17 日	ごはん・天ぷら	冷麦
	24 日	ごはん・おろし焼肉	ねばねばぶっかけ麺
9 月	14 日	ごはん・肉豆腐	きのこそば
10 月	5 日	ごはん・マーボー豆腐	ラーメン
	12 日	ごはん	ざるそば
11 月	9 日	ごはん・鶏挽肉甘味噌焼き	煮込みそうめん
	16 日	ごはん・唐揚げおろし煮	きのこそば
12 月	28 日	ごはん・天ぷら	そば・天ぷら
1 月	18 日	ごはん・チキンカツ	煮込みうどん
2 月	8 日	ごはん・石狩煮	味噌ラーメン
	15 日	ごはん・ねぎとろ	にしんそば
3 月	8 日	ごはん・煮込みハンバーグ	煮込みうどん
	29 日	ごはん・肉豆腐	ラーメン

9. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイは、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、専任職員を配置し、多様なニーズ（介護者の介護負担軽減、環境変化による活性化、突発的な事情等）とケアマネジャー・家族との細やかな調整に心がけた。

また、毎月ショートステイ委員会を開催し、リスク検証を行いながら安全・安心な利用を目指した。

今後もさらにサービスの充実を図り、利用者・家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

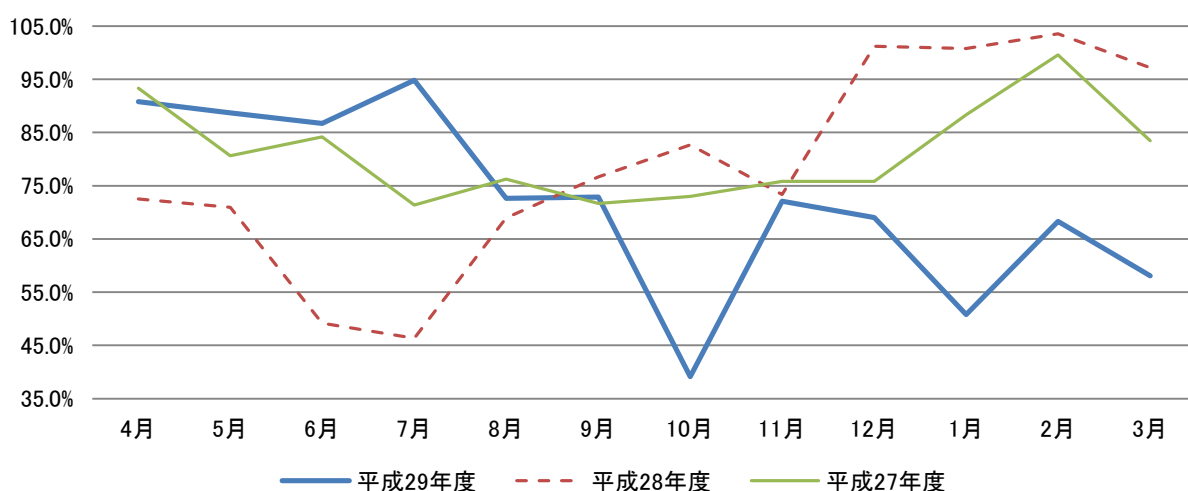
(2) 利用状況

① 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	218	220	208	235	180	175	97
稼働率	90.8%	88.7%	86.7%	94.8%	72.6%	72.9%	39.1%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用延べ人数	173	171	126	153	144	2,100人	
稼働率	72.1%	69.0%	50.8%	68.3%	58.1%	71.9%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
平成29年度	2,100人	175人	71.9%	3.57
平成28年度	2,293人	191.1人	78.5%	3.5

稼働率推移(過去3年分)



上半期は、利用者の増加傾向がみられた。下半期に入り、施設内において突発的な感染症（発熱の蔓延、インフルエンザ等）が発生し、利用を中断、または予定をキャンセル依頼せざるを得ない状況になり、稼働率が低迷する結果となった。今後も様々なリスクを想定し、対応できるように体制作りが課題となっている。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	0	8	10	16	8	12	54 人

③ 男女別

実人数

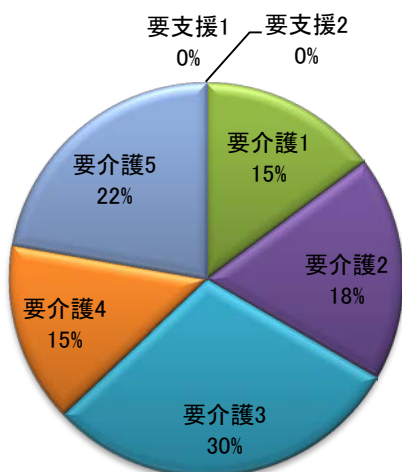
男性	女性	合計
15 人	39 人	54 人

④ 地区別

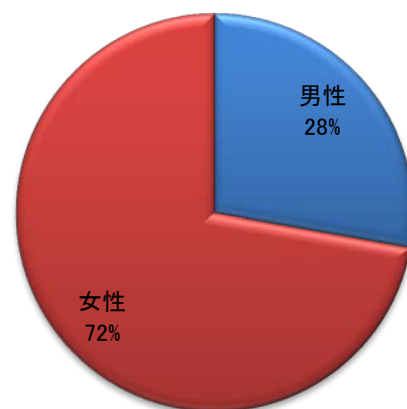
実人数

吉野	金山	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	合計
4	1	11	2	3	3	15	15	54

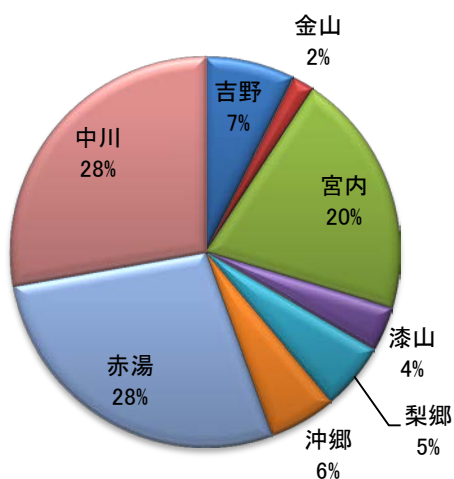
介護度別



男女別



地区別



10. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総 括

1.利用状況

地域密着型通所介護へ移行となり、利用者サービスのより一層の向上を図り月曜～土曜日の週6日営業を実施するとともに新規利用者獲得に力を入れた。

2.職員研修

各種研修会への積極的参加を図り、職員の資質の向上及び処遇技術の向上に努めた。
また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会（総会）	1	1
◇ 置賜地区デイサービスセンター生活相談員研究会	1	1
◇ 介護保険施設実地指導	1	1
◇ 救急救命研修（AED）	1	1

(2) 利用実績

① 実人員（性別、利用別）H30.03 末

介護度	要介護					総合事業		介護予防		計
	1	2	3	4	5	通1	通2	支1	支2	
男性	3	5	2	4	1	3	2			20
女性	14	8	9	1	1	4	6			43
計	17	13	11	5	2	7	8			63

② 地区別 H30.03 末

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	2	0	1	13	1	1	0	1	1	0	0
女性	5	0	1	28	0	6	0	0	3	0	0
計	7	0	2	41	1	7	0	1	4	0	0

③ 入浴別 H30.03 末

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
13	50	0	0	0

④ 利用状態別 H30.03 末

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行
42	2	3	8	3	5

地区別利用者割合（実人員）は地元が半数を超えており、次いで赤湯地区、吉野地区となっている。

市内の施設からの利用は前年度より減少となっている。

介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で約半数を占めている状況。

要介護3は全体の17パーセント。要介護4、5は11%であり、平均介護度は2.1で昨年度と同じという状況である。

利用状態別割合は、例年年間を通して80%程の方が継続してご利用であったが、今年度は、入所、ご逝去及び、サービス変更による利用終了が26%程と高くなっている。（市内に於ける新規施設の開設、及び増床施設の影響と考えられる。）

※休止中の内訳については、冬季SS利用に変更、及び自宅静養中の方。

⑤ 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営 業 日	25	27	26	25	23	25	26
要介護	284	325	314	270	248	271	302
総 合	41	61	59	51	60	61	60
予 防	16	13	13	12	11	0	0
利用者計	351	399	386	333	319	332	362
利 用 率	100.0%	101.2%	102.1%	94.9%	93.8%	97.8%	95.8%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
営 業 日	25	24	23	19	21	289 日	
要介護	268	242	233	224	250	3321 人	
総 合	65	60	53	56	61	698 人	
予 防	0	0	0	0	0	65 人	
利用者計	333	302	286	280	311	3994 人	
利 用 率	91.7%	100.5%	96.0%	91.8%	94.5%	96.8 %	

※利用率は目標値にて算定。定員の90%（12月～2月は80%）に設定

月別・年度別利用状況（過去3年分）



(3) 利用者日課と行事

時 間	利用者の活動	業務内容
08:30		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備
08:50		送迎バス出発・乗車介助・宅内介助
09:50	送迎バス到着	受け入れ・連絡帳確認及び記入
10:30	健康チェック・茶話会 入浴・個別リハ、レクリエーション活動	ミーティング・バイタルチェック 入浴介助（介助浴・特別浴）・浴室清掃
12:00	入浴終了 昼 食	昼食準備・配膳 食事介助（昼当番） 口腔ケア・排泄介助・移動介助
13:00	休 養	連絡帳、日誌類記入
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・レク 準備
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導
15:00	手作りおやつ 茶和会 帰宅準備・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 連絡帳配布・相談等・記録（データ入力） 送迎準備
15:45	帰宅準備	排泄介助
16:00	送迎出発	送迎介助
17:10		送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）
17:30		退 勤

月 別 行 事 実 績			
4月	・桜花見・季節のおやつ作り	10月	・秋祭り・災害避難訓練・ビデオ体操
5月	・体力測定・ゆったりティータイム	11月	・俳句・短歌
6月	・災害避難訓練 ・ゆったりティータイム	12月	・クリスマス会 ・季節のおやつ作り ・ゆったりティータイム
7月	・季節のおやつ作り	1月	・書き初め・体力測定・季節のおやつ作り
8月	・ゆったりティータイム・体力測定	2月	・節分豆まき・ゆったりティータイム
9月	・体力測定 ・野外芋煮会	3月	・雛祭り会・お彼岸・季節のおやつ作り

(4) 運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月24日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月20日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

(5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- ◇ 防火管理者 近野 生活相談員兼介護福祉士（DSC）
- ◇ 消防防災設備定期点検 9月21日、3月13日
- ◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし
- ◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 9月分
- ◇ 夜間非常通報訓練 12月18日一斉メール、電話で実施
- ◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練2回

（第1回）5月27日／こぶし荘合同 重点項目：通報、避難誘導、初期消火器訓練、土砂災害対応

（第2回）11月10日／こぶし荘 重点項目：図上訓練、火災想定

◇ 協力依頼 ～ 南陽消防署、地区消防団、北山地区住民、防災設備会社

(6) 施設管理、環境整備

- ① 緊急避難場所用芝生及び植栽管理～除草、施肥
- ② プレハブ倉庫の管理～介護用品、季節用品などの整備、保管
- ③ リフトバスの補修整備（車検整備1台）
- ④ 床下ピット内排水作業（随時）、床ワックス施工（1回）
- ⑤ センター外周側溝清掃（随時）
- ⑥ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理、修理
- ⑦ 利用者用トイレの整備（シャワートイレ・手洗い自動水栓の設置）
- ⑧ 利用者用洗面所手洗い自動水栓化
- ⑨ 浄化槽の保守管理
- ⑩ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑪ 除雪機の整備及び保守管理、駐車場整備
- ⑫ 特浴槽の保守整備

11. こぶし荘在宅介護支援センター

(1) 総 括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

4月からの総合事業見直しに伴い、利用者様が現行サービスより新サービスへ円滑に継続利用頂けるよう支援を行った。

今年度のサービス利用実績は前年度比マイナス実績であった。次年度は、いきいきサロンや地域行事への参加により地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図り、在宅介護説明会・認知症サポート研修会を「研修・地域連携委員会」と共同開催し、実績回復のための利用者確保に向け取り組む。

(2) 利用実績

① 在宅支援事業

1) 業務別件数

項目	件 数
1. 福祉用具展示	有り
2. 相談延べ人数	3, 944 人
3. 訪問延べ人数	968 人
4. 連絡調整	2, 460 件
5. 手続き代行	7 件
6. 通院送迎介助	2 件
7. 介護用品斡旋注文	2 件

2) 相談内容別件数（延べ）

相 談 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 介護相談	154	141	136	142	100	120	162	137	131	108	58	65	1,454
2. 健康相談	16	23	22	18	29	25	25	22	22	21	11	15	249
3. 医療相談	18	44	54	56	51	67	62	67	57	33	14	23	546
4. ホームヘルパー	67	57	83	64	66	85	90	78	61	51	41	35	778
5. デイサービス	73	98	84	77	78	76	72	78	73	57	48	51	865
6. ショートステイ	37	50	48	40	34	32	44	39	31	42	14	12	423
7. リハビリ	10	5	17	4	16	7	4	13	10	7	2	2	103
8. デイケア	9	16	12	5	7	7	3	3	8	5	7	2	84
9. 福祉介護用品	52	35	53	44	33	57	53	52	39	45	24	34	521
10. 住宅改修	1	1	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	11

11. 施設入所関係	8	11	9	10	6	3	14	14	9	15	4	4	107
12. 訪問入浴	3	4	11	11	14	16	6	13	11	7	5	5	106
13. 保健福祉関係	7	3	2	9	8	11	8	6	6	3	3	6	72
14. 訪問看護	14	19	20	18	23	25	25	28	24	22	15	8	241
15. その他	20	20	10	38	27	30	20	12	22	22	1	2	224
合 計	489	527	565	538	494	561	588	562	511	438	247	264	5,784

② 居宅介護支援事業

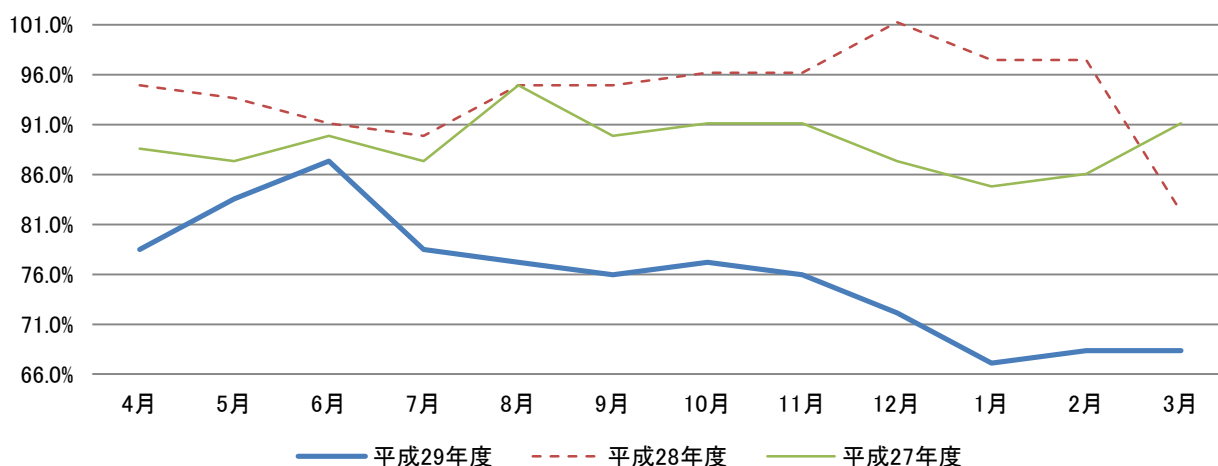
1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	46	49	52	47	45	44	45	44	41	39	40	40	532
予防給付	16	17	17	15	16	16	16	16	16	14	14	14	217

2) 移動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 新規相談	2	4	1	2	2	1	1	0	0	0	0	3	16
2. 保険外相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3. 入所	0	1	8	2	3	0	1	0	0	0	0	0	15
4. 入院	4	5	6	7	4	1	3	6	3	0	0	0	39
5. 死亡	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
ケアマネ依頼	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	6

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1) 総 括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。四季折々に地元住民と様々な交流の機会を設けることや、職員の認知症ケアに関するスキルアップは今後も継続して実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
	要介護 1	60	62	90	124	101	90	93
	要介護 2	137	155	120	74	89	106	124
	要介護 3	60	31	30	31	31	30	31
	要介護 4	0	31	30	31	31	30	31
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0
利用者計		257	279	270	260	252	256	279
利用率		95.2%	100%	100%	93.2%	90.3%	94.8%	100%
入院・外泊		13	0	0	0	16	0	0
区分		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
	要介護 1	90	93	93	84	93	1, 0 7 3 人	
	要介護 2	120	124	138	140	155	1, 4 8 2 人	
	要介護 3	30	31	3			3 0 8 人	
	要介護 4	30	31	24	9	31	3 0 9 人	
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	
利用者計		270	279	258	233	279	3, 1 7 2 人	
利用率		100%	100%	92.5%	92.5%	100%	9 6 . 6 %	
入院・外泊		0	0	7	19	0	5 5	

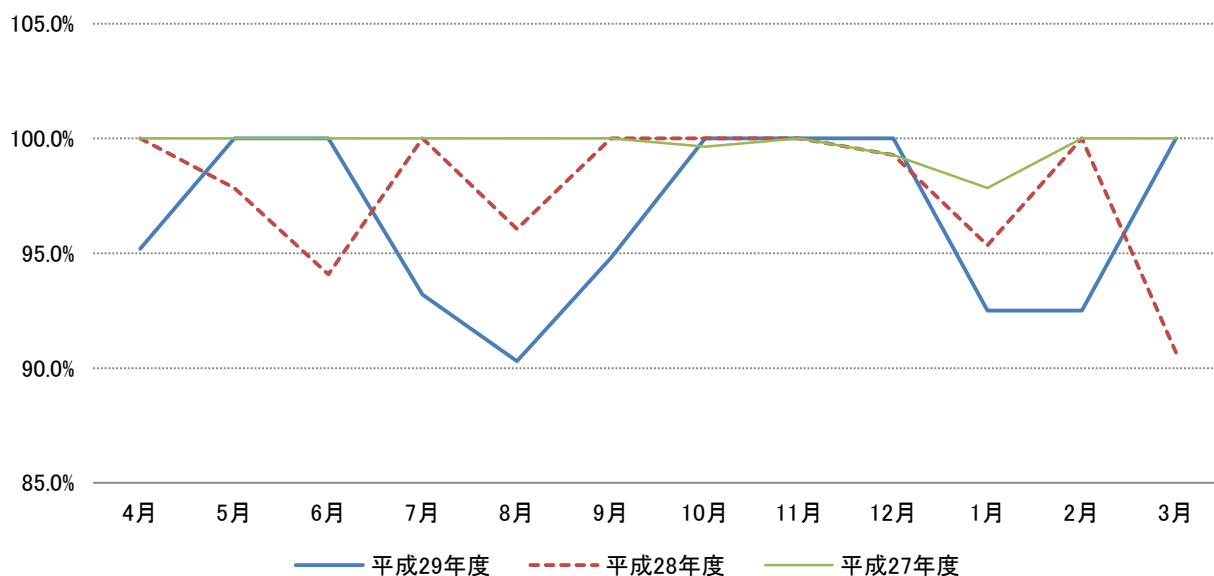
② 年齢別

区分	～60 歳台	70 歳台	80 歳台	90 歳台	100 歳以上	平均
男 性	0	1	3	1	0	8 4 . 80
女 性	0	0	6	1	0	8 5 . 57
計	0	1	9	2	0	8 5 . 25

③ 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	0	1	1	2	2
女 性	0	1	0	1	1
計	0	2	1	3	3

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



平均介護度は2.0で、要介護1、2の認知症高齢者へのケアが課題とされる。また、重度化、緊急時対応頻度が増え、入院、退所が昨年度に比べ44日増加した。

(3) 利用者サービスと日課

利用者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、利用者のペースとどう暮らしたいかの思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであること、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が安心して地域で暮らせる力となっている実感がある。地域行事への積極的参加や趣味活動、得意分野を活かした取り組みは利用者の笑顔からその答えを頂いている。今後も利用者主体のゆったりとした時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つけれられるサポート役になっていきたい。

	一日の流れ（日課表）
6：00	起床、洗面、着衣交換
7：00	朝食準備
8：00	朝食、後片付け、健康管理チェック
9：00	清掃、洗濯物畳み（前日の午後～就寝前の物）、洗濯（起床～朝食時の物）
10：00	お茶、レクリエーション 等
10：30	入浴、昼食準備
11：00	昼食準備
12：00	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
13：30	休 憩
14：30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック 等
16：00	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）
17：30	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
19：00	だんらん
19：30	就寝準備
20：00	就 寝

（４）主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
4月24日	花見会（グループホーム 駐車場にて）
6月 6日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
6月 7日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
6月 9日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
6月21日	「ブラスト」リハーサル一般公開見学（南陽市文化会館）
7月 6日	笹巻作り ご家族、地域の方との交流
8月 5日	佐藤病院夏祭り 川樋地区子ども神輿来荘
8月12日	いわぶの里夏祭り
9月 2日	こぶし荘敬老会
9月 9日	中川小学校運動会
9月25日	芋煮会（グループホーム テラスにて）
今年度中止	こぶし荘秋祭り
11月 3日	中川地区文化祭（中川小学校）
12月16日	ハンドベル演奏会 まつりよしの様（グループホーム ホールにて）
11月13日	中川地区芸能フェスティバル（中川公民館）

(5) 運営推進会議

地域密着型サービスへの市民感覚の受入れと意見を尊重して、より良い介護を行うため、2カ月に1回、計6回開催した。

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月24日	4	3	入居者状況、29年度委員・細則、外部評価 他
7月26日	3	3	入居者状況、家族交流・地域交流 防災訓練 他
9月28日	4	3	入居者状況、敬老会・秋祭り、環境整備・修繕 他
11月16日	4	3	入居者状況、感染症対策、環境整備、職員研修 他
1月25日	4	2	入居者状況、新委員委嘱、感染症罹患報告 他
3月23日	3	3	入居者状況、感染症罹患最終報告、職員研修 他

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。第1回訓練では、グループホームを火元に想定した訓練を行った。

- ・ 5月27日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月10日 第2回総合防災訓練
- ・ 12月18日 非常通報訓練

(7) 建物・設備管理

- ・ エアコン修理 4月 6日
- ・ ベッドサイドレール新設（1台） 4月24日
- ・ センサーマット新設（1式） 4月28日
- ・ ベットマット新設（1枚） 5月 9日
- ・ 非常灯ランプ交換（7個） 5月17日
- ・ オーバーベッドテーブル新設（1台） 8月17日
- ・ 酸素飽和度測定器新設（1器） 8月18日
- ・ 炊飯ジャー買い替え（2台） 11月 2日
- ・ 空調設備工事完成検査 2月13日
- ・ 浴室側溝用グレーチング交換（1式） 2月22日
- ・ 入居者用トイレ壁付L字バー設置（全4カ所） 3月15日

★★ 平成２９年度事業報告書 ★★

法人名： 社会福祉法人南陽恵和会
理事長 遠藤 東一郎

所在地： 山形県南陽市川樋５０８番地
電 話： ０２３８（４９）２８００
FAX： ０２３８（４９）２８０２
メール： kobushi@bz01.plala.or.jp
URL： <http://kobushiso.jp/>